

単元案の概要

テーマ
留学先でかかるコストはどのくらい？—物価を調べてみよう
目標
学習レベル 2 大学生の消費行動の比較を通して、文化の背景を理解し交流を図る。
コミュニケーション能力指標
食 2-g 自分の食生活について、口頭で説明できる 住まい 2-a 部屋の様子を口頭で説明できる 人とのつきあい 2-b 相手の都合を聞いて、日程や場所などを決めることができる 2-h 定型表現を使った、簡単な手紙やメールを書いたり読んだりできる
学習シナリオ
<p>Y 大学のドイツ語クラス(ドイツ語履修3セメスター目)では、日本とドイツ(語圏)の学生生活の違いを考えることになった。その切り口として、物価やモノの値段の比較を行う。Y 大学では W 大学との交換留学制度があり、このクラスには、来年度 W 大学留学予定者も数名含まれる。</p> <p>価格の比較対象となるのは、以下の5つである。</p> <p>1. 家賃 2. ランチの値段 3. 携帯電話(スマホ)利用料 4. アルバイト(時給) 5. 学費</p> <p>受講生の中でグループ分けをし、担当を決める。それぞれの項目について、まず Y 大学の学生を対象に調査をする。(活動1)次に、調査に必要なドイツ語を調べ、W 大学留学生、または W 大学留学経験者(日本人学生)に尋ねる項目を作成する。(活動2)W 大学留学生、または W 大学留学経験者(ドイツ語でやり取りしてくれるように依頼)にメールで連絡を取り、都合の良い日時を設定する。W 大学留学生または W 大学留学経験者にインタビューする。(交流1)不足点については、インターネットで情報を収集しても構わない。</p> <p>パワーポイントで比較するものを表にし、日本語とドイツ語で説明文を入れる。ファイルをネイティブチェックしてもらい、クラス内で発表。(発表)各グループ成果物を見てコメントし、クラス全体で、この物価の違いを比較して日頃の文化の違い・または共通点など気づいたことを話し合う。発表の様子を撮影し、スライドとともにインターネット上で限定公開する。他の言語(中国語・韓国語・日本語)の発表・スライドを見て、クラスを超えてお互いにコメントする。(交流2)</p>
総括的評価
<ol style="list-style-type: none">1. テーマについて留学生(留学経験者)から必要な情報を聞くことができる。2. 物価の比較が分かりやすいスライドを作成することができる3. スライドに載せる説明文や発表時の説明は、自分の言葉で伝えることができる4. それぞれの発表内容を聞いて、目標言語圏と日本の文化の違いに関して気付くことができる。

3 × 3 + 3 分析

テーマ：留学先でかかるコストはどのくらい？—物価を調べてみよう

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 物価を比較するために必要な単語がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人学生の消費行動がわかる W 大学の学生、または留学している日本人学生の生活行動がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的背景が異なる学生と交流することの必要性を理解している スライド作成など、適切な ICT を活用することの重要性を理解している
できる	<ul style="list-style-type: none"> W 大学の学生から必要な情報を入手するための文章を作成することができる スライドに載せる説明文を書くことができる 発表時の原稿を書くことができ、ネイティブチェックをしてもらうことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 調査した項目に関して、日本と目標言語圏の物価の違いを比較することができる 物価の違いを通してその原因を考察し、その背景にある考え方や価値観について、自分で意見を伝えることができる 日独だけではなく、他言語履修者のスライドを見て、自文化・他文化の文化的相違について分析することができる 	<ul style="list-style-type: none"> グループの一員として、自分の役割を責任を持って果たすことができる（協働）。 スライド作成という目標に向かって、資料を収集し、調査結果を分析して、自分の考えを伝えることができる（高度思考） インタビュー実施のためにメールを活用したり、発表内容を効果的に伝えるスライドを作成することができる（情報活用）
つながる	<ul style="list-style-type: none"> W 大学の留学生（または留学経験者）とインタビューを通して交流することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 他大学の他言語履修学生が作成したスライドに互いにコメントすることを通じて相互交流することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 言語ごとの成果物を公開することで、クラスを超えた交流が生まれる。
三連携	連携 1：大学生の生活に密着した、学生が関心のあるテーマを扱う 連携 2：他教科（経済）と繋がる 連携 3：教室外の人（留学生、他言語履修者）と繋がる		

「外国語学習のめやす」 マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価
 作成者：池谷尚美（ドイツ語）

目標の要素分解

テーマ：留学先でかかるコストはどのくらい？—物価を調べてみよう

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
グループ内で、どの学生に調査したらよいか考える（ゼミ、サークルなど）	Y 大学の学生に対して調査することを考える	自文化（日本）の学生の消費行動を振り返る	大学生の消費行動の比較を通して、文化の背景を理解し交流を図る。 状況設定：Y 大学では物価比較（比較対象：家賃、ランチ、携帯・スマホ利用料、アルバイト（時給）、学費）を通じて、日本とドイツ語圏の生活の異同を考察する。さらに、他大学の他言語履修学生と成果物を共有して物価のさらなる比較を行う。
Y 大学の学生に調査を行う	Y 大学の学生に対して調査する		
写真撮影など			
必要な語彙や表現をピックアップする	W 大学留学生に尋ねることを考える	目標文化の学生の消費行動を理解する	
インタビューの質問文を作成する			
アポを取るのに必要な語彙や表現を復習	W 大学留学生インタビュー（または経験者に）		
アポを取る			
ドイツ語でインタビューを行う			
スライドのアウトラインを作成、比較するものを表にする			
日本語・ドイツ語の説明文を入れる ネイティブチェックを受ける			
クラス内で発表	発表		
各言語ごとの成果物を共有し、コメントする。	インターネット上で成果物を公開する	他言語履修者と成果物共有	

評価ルーブリック

テーマ：留学先でかかるコストはどのくらい？—物価を調べてみよう

＜指示文＞					
<p>いくつかの物価を比較することで、日本とドイツ語圏の文化の違いについて考えてみましょう。比較するものは5つ、家賃、ランチ、携帯[スマホ]利用料、アルバイト(の時給)、そして学費です。Y大学の学生と、W大学の学生(またはW大学留学経験者)両方の事例について調査して下さい。発表はスライドを作成して行いますので、必要な写真も撮影をお願いしておきましょう。ただし、お店などの場合には、予め撮影の許可を取って下さい。留学生へのインタビューは、ドイツ語で行います。インタビューのアポ取りもドイツ語です。必要な単語や文章は予め作成し、先生に見せて下さい。インタビューが終わったら、スライドを作成し、クラス内で発表します。表を作成し、日本語・ドイツ語で説明文を付けます。この時にもネイティブチェックを受けましょう。発表は聴き手に分かりやすいドイツ語で行いましょう。発表の様子は撮影します。スライドと共にインターネット上で、他大学の他言語履修学生と共有します。その後、他言語のスライドを見て、様々な国の物価を比較し、そこから見えてくる文化の違いについて、考えてみましょう。なお、グループでは特定の人に負担がかかることなく、役割分担を行い、協力して作業にあたってください。 * 今回のプロジェクトは、シラバスに記入していなかったため、ドイツ語の評価には関係ないものとする</p>					
要素/レベル	4 目標以上を達成	3 目標を達成	2 目標達成まであと少し	1 目標達成まで努力が必要	
文化	相違性に関する尊重した発見・分析	適切な価格比較や消費行動の比較を通して、自分たちの学生生活と目標文化の相違性と文化の多様性を尊重し、金銭感覚等に対する多様な見方や考え方を示すことができる。	価格比較や消費行動の比較を通して、自分たちの学生生活を分析し、金銭感覚等の文化の多様性についても言及している。	価格比較や消費行動の比較を通して、自分たちの学生生活を分析し、考察しようとしているが、不足が見られる。	価格比較や消費行動の比較を通して自分たちの学生生活の分析や考察に著しい不足や誤りが見られる。
	受信者に対する共感性・配慮	受信者に対する十分な配慮が見られ、複眼的な視点から有益かつ、必要と考えられる情報を過不足なく適切な形で有効に伝えている。	受信者が必要と考えられる情報を提供するために、複眼的な視点から分析し過不足なく伝えている。	受信者の関心や問題意識に対する配慮が欠けている。	受信者が必要とする情報が不十分である。
グローバル	(チームワーク、協働能力)	グループの目標を達成するために常に努力し妥協が必要なときは妥協する。グループでの目標達成のために常にポジティブであり、他人への協力を惜しまないし、グループのために自分の能力、知識、時間などを常に提供し、目標を達成するために与えられた以上の仕事をする。	グループの目標達成のためにおおむね努力し、妥協することもある。他人と協働作業することにおおむねポジティブである。グループのために自分の能力、知識、時間などを提供することが多く、自分に与えられた仕事はおおむね終わる。	グループの目標達成のために時として妥協することもあり、目標達成のために他人を助けることもある。グループのために自分の能力、知識、時間などをときどき提供する。与えられた仕事をしないこともときどきある。	グループの目標達成のために妥協することがなく、グループのほかのメンバーと良い関係を築くことができない。グループでする作業、グループメンバーに批判的なことがある。与えられた仕事をせず、グループへの貢献もほとんどない。
	ネットワーク構築能力	クラスで協力して現在、日本に留学中の学生と交流をすることができ、ウェブを通して日本に留学を考えている人にもアドバイスを与えたり、未来に続く持続的な人的ネットワークを構築できている。	クラスで協力して現在、日本に留学中の学生と交流をすることができ、ウェブを通して日本に留学を考えている人にもアドバイスを与えたり、人的ネットワークを構築しようとしている。	日本に留学中の学生や日本に留学を考えている人との人的ネットワークを構築しようとしているが、まだできていない。	日本に留学中の学生や日本に留学を考えている人との人的ネットワークを構築しようとしていない。
	構成・知識(わかりやすい内容)	完璧かつ正確に事実、データを分析したり、評価したりできる。	ほぼ正確に事実、データを分析したり、評価したりできる。	事実、データを分析したり、評価したりする際に、重要な観点をみつけられないことがある。	事実、データを分析したり、評価したりする際に、重要な観点をみ逃す。
表現	流暢さ、発音、わかりやすさ	よどみなく流暢に、正確に、はっきりと大きい声で聴き取りやすく説明できる。	コミュニケーションに差し支えない程度に表現できる。	聞き取りにくく、一貫性がない。途中で途切れてしまう。	中断や誤用が多い。声も小さく聞き取りにくい。
	語彙・文法・表現	豊富で適切な語彙・文法・表現を正しく使用している。	必要な語彙・文法・表現を正しく使用している。	限られた語彙の使用。ときどき語彙の間違いや語彙の不足が見られる。	語彙・文法・表現に誤りが多い。
IT	情報リテラシー	複数の資料を収集し比較した上で正確に情報をまとめることができる。	的確に情報を収集しまとめることができる。	収集した情報に偏りや不足がある。	必要な情報を収集できていない。
	IT(インターネット)を駆使	目的達成のために最も効果的かつ効率的なソフトウェアを選択することができ、それを効果的に駆使して、目標を達成することができる。電子メールプログラムなどコミュニケーションのためのソフトウェアを効果的に使い、効果的なコミュニケーションができる。	目的達成のために必要なソフトウェアを選択し、それを駆使して、目標を達成している。電子メールプログラムなどコミュニケーションのためのソフトウェアを使ってコミュニケーションができる。	目的達成のために必要なソフトウェアが選択できないために、目標達成が不十分である。電子メールプログラムなどコミュニケーションのためのソフトウェアの用法を知っているが、効果的には利用できていない。	目的達成のために必要なソフトウェアが選択できないために、目標達成できない。電子メールプログラムなどコミュニケーションのためのソフトウェアの用法を知らない。コミュニケーションができない。
	写真、図、イラストなどのビジュアルエイドの使用	ビジュアルエイドを非常に効果的に使い、文字情報や画像に過不足なく、発表を非常にわかりやすいものにしていく。	発表に関するビジュアルエイドを適切に使っている。	ときどきビジュアルエイドを使うが、発表の内容の理解を助けるものではない。	発表の内容にあまり関係のないビジュアルエイドを使うか、全くビジュアルエイドを使わない。
コメント欄					